公表 事業所における自己評価結果

事業所名		運動発達支援スタジオ笑みりい~指花田	i i			
ф	#U77-6s	建動発達支援スタシオ英みりい~商化出 チェック項目	tzu	SUI	公表日 工夫している点	会報7年 10月 30日 課題や改革すべき点
			-		運動サーキットをお子様全費で図るように なったので全体を見れるようにして、お子	人数対しては少し扱いように思うとのご意 見がありましたので引き続き自由時間も含
程規、体制整備	1	利用定員が発達支援型等のスペースとの関係で適切であるか。			様が運動する時間も+分な運動量で設定し ています。	のて運動機の確保といろんな種目を提供し て満足していただけるようにしていきま
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切である			通切に報贷配置をしています。	
		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている か、また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、パリアフリー化	6		はじめの会から、終わりの会送、何をする か示したり、会分けしたテーブで、趣味的	2届のの教室に移動する時は必ず職員が前後 ろについて手すりをもっていただき安全に
	3	や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		か示したり、色分けしたデーブで、模萃的 に待つところなど分かりやすくしていま す。 利用ケラスごとに透練 領事を行っていま	ろについて手すりをもっていただき安全に 移動ができるようにしています。 決国的も返回に保つように原知していきま
	4	生活空間は、清潔で、心物よく過ごせる模様になっているか。また、ことも連の活動に会わせた空間となっているか。	6		利用シラスことに指揮、対略を行っていま す。	す。更になると騒が上がってきていること もあったので、駆除しています。
	5	必要に応じて、こどもが値別の修座や場所を使用することが認めら れる環境になっているか。			2指の静かな教室でマットを置いてクールダ ウンして落ち着いて活動ができるようにし ています。	
		業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)	6		毎日、利用しているお子さんの活動記録を 各職員が記載し、モニタリングに反映させ	
	6	に、広く職員が参画しているか。	6		て、次の個別支援計画書にも反映して実施 できるようにしている。	
*	7	保護者向け評価表により、保護者等の限向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改正につなげているか。			年度末にアンケートに答えていただき、結 果を職員全体で振り返り暴務の改善を行っ ています。	
商改	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。			朝礼、終礼やケース会議、支援会議、プロ グラムのすすめ方など職員で話をする機会	
36	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を単務改善につなげている	6		を多く取りようにしています。	規略点では第三者による外部評価は行って いません。
	9	tr.	6		新しく入職した職員には帰育にあたっての	V-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-
	10	職員の資質の的上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。			研修を施設内でして、外部の研修も案内が あれば受講するようにしています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公長されているか。			2週間ごとにプログラムの変要はしていま す。毎月何をするか支援プログラムは作成 しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を容額的に分析した上で、放課後等テイサービス計			保護者面談、普段から利用児のニーズを関 き取り個別支援計画の反映しています。	
		画を作成しているか。			個別支援計画の内容が反映されるように、 毎日の活動記録を記入するようにしていま	
	13	放露後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理賞 任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こ どもの職員の利益を考慮した検討が行われているか。			す。子どもの課題やニーズ、保護者様の ニーズが分かるようにしていき、また、朝	
		放露後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に泊った支援			礼や終礼、支援会議で共通理解をしていま ま。 支援計画書を全額責と共利し支援をおこ	
	14	Mishatuab.			なっています。 顧問で入っているPTやSTの先生や在籍する	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。			専門職で会議をして内容を全体で共有し. より専門的な支援ができるように努めてい	
		放揮後等デイサービス計画には、放揮後等デイサービスガイドライ ンの「放揮後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」。			それぞれのお子様の発達年間や今後の成長 について保護者様と話し合い、必要な支援	職員の意見がより反映されるように、ケー ス会議を充実しています。
週切	16	「単族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい 及び支援内容も論まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に			内容を設定しています。	
な変		設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			望いた時間で決めてチームで考えてすすめ	
便の	17	温熱プログラムの立窓をチームで行っているか。			ています。 プログラムが固定化されないように毎月考	
提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			えて決めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放 課後等テイサービス計画を作成し、支援が行われているか。			議員間で利用売の状況を共有し、個別活動 と集団活動を組み合わせて計画の作成をし て、支援しています。	
	20	支援開始的には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や収款分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい			弱礼でその日の支援内容や注意点、役割分 担について確認しています。	
	21	るか。 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援			毎日終礼時に、支援の振り返りを行い共有 し、関札でも同じく振り返って点をどう だったか伝え会っています。	
	21	の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			毎日の支援の様子を個別支援計画に関らし	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改美に つなげているか。			会わせ活動記録の中に記載し、検証して改 首するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			少なくとも6か月に一度見直しています。 必要に応じて見直しをして計画の変更も 行っています。	
	24	放露後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み会わせて支援を行っているか。			4 つの基本活動を原理したプログラムで支 援を心がけています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決			子ども会議を定期的に開催し、子ども同士 で話し会い自己決定できる機会を設けてい	
F	25	定をする力を育てるための支援を行っているか。			ます。 児童発達支援管理責任者が中心に参加して	
	26	脚書児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した名が参画しているか。			いるが必要に応じて指導員も参加すること があります。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			必要に応じて利用時が通う、保育国やこど 也固、幼稚園に保護者様に承諾していただ き連携することがあります。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)			学校の行事予定、子どもの下校時間の確認 はなど保護者様からお知らせいただくこと がほとんどですが、迷遊時の対応、トラブ	
101 65		を適切に行っているか。 数学的に利用していた保育所で幼稚園、終定こども間、児童発達女			ル発生時の連絡を取り合っています。 数学面前には情報共有する機会はありま	
极	29	33.予例に利用していて体育が、23.0円間、およここでは、元重発達文 接事業所等との間で情報共有と核互理解に努めているか。 学校を卒業し、放復後等デイサービスから障害権能サービス事業所			r.	
や保	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害指針サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。				障害福祉サービスへの連携をする機会がな かなかないので今後は情報収集していきた い。
長客	31	助城の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー バーバイズや動図や研修を受ける機会を設けているか。			スーパーパイズの助賞を受け、工夫して研 修を受けるように心がけています。	
との連携		放揮後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す			今年は食フェスに参加を企画し、地域の子	今後も地域の方々や子どもとの交流を継続
	32	る場合があるか、			どもとの交流をしていきます。 寮商内容は自立支援を募集して行ってい	していきたい。
	33	(自立支援) 協議会等へ隣接的に参加しているか。			ō.	今のところ参加へできていないが活動内容 を知っていくことから取り組みたいとおも います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。			連絡ノートで保護者様からご家庭での様子 を把握し、利用時の様子を記載して伝え、 保護者様に直接お話しして共通理解をでき	
		要集の対応力の向下を図る組合から、要集に対して要集を達づ口が			るようにしています。 外部研練の案内で保護者向けの研修の案内	
	35	ラム (ペアレント・トレーニング等) や事族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。			があればfineで一斉に送り、研修等の呼びか けをしています。 体験見字や契約にお頼しいただいたときに	
	36	連営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁単な説明を 行っているか。			丁寧にお伝えするようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の原 思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど			保護者面談を行い保護者様のご希望をお開 きし、お子様からは支援中にニーズを開き 取りできるお子様には聞いて反映してい	
	H	もや東族の原的を確認する機会を設けているか。 「始課場等デイサービス計画」を示しながら支援内容の政務を行			る。 支援計画内容を説明し、同意を得た上で著 名していただいています。	
	38	「放課後等テイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から救課後等テイサービス計画の同意を得ているか。			名していただいています。 定期的に面談し保護者からの相談に対して	
保護者への説明等	39	原族等からの子育での協み等に対する相談に適切に応じ、直談や必 要な助富と支援を行っているか。			助賞や支援を行うように心がけています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ り、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、ま た、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしている			保護者交流会は年2回企画しています。イ ベントプログラムにはきょうだい児も参加 できるような企画も立て呼びかけていま	
		か。 こどもや保護者からの芸情について、対応の体制を整備するととも			す。 相談や申し入れがあった場合は職員全体で	配慮が足らない場合もあるので関き取りを
	41	に、こどもや保護者に開始し、当情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。 定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することに			共有し迅速に対応するようにしている。 HPDSNSア高勢関係をLTLVます。Lineで	しっかりして、対応していく。
	42	より、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に 対して発展しているか。			HPやSNSで活動報告をしています。Lineで 活動の様子を保護客様に送り確認していた だいています。	
	43	個人情報の歌毀いに十分値載しているか。			個人情報の取り扱いは気を付けています。 個人を特定されないようにしています。	
	44	開碁のあるこどもや保護者との意思の政連や情報伝達のための配慮			わかりやすい表現で伝えることや模質支援 も行っています。	
		eutvan.			今年は事業所行事にはご招待できなかった	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関かれた事業運営を 関っているか。		Ì	のですが、地域で開いているお店に出向き 子どもたちがお子紙を書いて地域の方と交 流しました。	
	46	等級的止マニュアル、関急等対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を発定し、職員や家族等に開始するととも に、発生を想定した訓練を実施しているか。			マニュアル等を策定し定期的に訓練を行っ ています。	
	47	業務経続計画 (BCP) を留まするとともに、非常災害の発生に信			BCPを策定して、災害時の物品を購入したり、支援的に避難、救出の訓練を行ってい	
		 支期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 事前に、脳裏や予防接種、てんかん局件等のこどもの状況を確認し 			ます。 体験時や契約時に確認しています。	
	48	ているか、			番目はおやつは提供していませんがイベン	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応 がされているか。			トなどでおや⊃を提供する場合は保護者様 に確認して提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な結 置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			安全計画を作成し月一間安全点検を行って います。	
	51	こどもの安全機保に関して、単独等との連携が図られるよう、安全 計画に築づく取組内容について、単独等へ周知しているか。			契約時の重要事項で説明させていただいで います。	災害時の緊急連絡先の確認や未所時に災害 が発生した場合の避難訓練など保護客様に
		atmic 最 J く 年 報号 P を R を P へ R 和 D と C いるか。 ヒヤリハットを R 単 所内で 共有し、 再発的 上に向けた 方無について			ヒアリハットの事例が発生したときは、終 礼や朝礼で開始し、報告書を作成をして内	限知していきます。
	52	検討をしているか。			容を観費全費で確認してサインしてもらっ ています。	
	53	虚符を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を しているか。			定期的に虐待防止の研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体的薬を行うかについて、結婚的に 決定し、こどもや保護者に挙的に十分に説明し了解を得た上で、放				規略点で身体拘束をしないといけない児童 はいません。
		次支し、こともや体験者に参称に十分に認用し了指を得た上で、放 課後等テイサービス計画に記載しているか。	1	1	I .	1